

## 5.1 ICTを活用した教育体制構築に関する実証事業 進捗

(目的)

・ICTを継続して活用する教育体制のを目的とし在外施設特有の課題に対処し、コロナ禍における児童生徒の学習機会に与える影響を軽減する。

・教育のあらゆる場面でICTを効果的に活用およびその効果を検証する実証事業を行い、教師による児童生徒への学習・生活指導の充実や教師への研修等、教育の質の向上(経費の支援)

ICT機器の購入については最大600万円の支援があり、CJSの申請については580万円が承認された。

(PC配布及びICT機器活用実証実験により行うICT教育の例及びICT機器配備進捗)







	内容	購入・準備する設備	進捗
1	今後感染がさらに拡大し、全員がオンライン授業を なった場合学校から <b>全クラス同時</b> にオンライン授業を 行う。	Wifiルータ 4台	4月購入
		無線インターネット増設 ( 50M)	9月末済み
2	オンライン授業であっても時間短縮(40分)せず <b>対面 授業と同等の時間</b> で授業を実施する。	マイクロソフトTeams(配布PCへ導 入)	11月PC配布時の予 定
3	<b>児童生徒全員に同じPCを配布</b> し、校内でも家庭でも使 えるようにする。	全員分のエントリータイプPCの導入、 設定 44台	11月16日より学校 でセットアップ。 12月配布
4	対面授業では教室で、オンライン授業ではPCで、 <b>書画 カメラで写した拡大映像</b> を見ることが出来る。教室で はプロジェクター・スクリーンでの拡大映像、オンラ インでも拡大映像を見ることができる。	小型プロジェクター6	納入待ち
		スクリーン9	納入設置済み
		書画カメラを設置9	納入待ち
5	日本からの英語授業を受ける場合、PCルームなどに移 動する事無く通常の教室で受講する。また、教室には <b>Webカメラが設置されており発言者へのオートフォー カス</b> などで日本の教員に現地の子供の映像が伝わるの で適切な指導が出来る	教室にWebカメラ設置9	納入設置済み
6	1台の <b>電子黒板を移動させてどの教室でも利用可能</b> とな る。双方向性の求められる授業で使う。	電子黒板移動用スクリーン	使用開始
7	<b>大型プロジェクタを体育館に設置</b> することで分散登校 になった場合でも行事(終了式や卒業式)ができる。 登校児童生徒を体育館に集め、自宅のオンラインの児 童生徒もPCから参加して <b>行事をリアルタイムにハイブ リットに実現</b> する	体育館 大型プロジェクター購入	納入済み。オンラ イン集会のための リハーサルは18日
8	大型プロジェクターで <b>バンドン日本人学校との交流会</b> をインターネットを通して実現する	スクリーンを制作	設置済み
9	大型プロジェクターを使い、ネット経由で <b>校歌作曲者</b> <b>をゲストティーチャーに迎えて授業</b>	プロジェクター、スクリーンを設置、調 整	設置済み
10	大型プロジェクターで <b>一時帰国生との交流</b>		
11	デジタルカメラを一人一台持たせて写真の共有をす る。 <b>オンライン授業の場合はデジタルカメラを家庭 に貸与</b> して撮影した写真を共有	デジタルカメラを購入 10	10台納入済み。



記入日:2020年11月2日

ICTを活用した教育体制構築に関する実証事業

10月次取組報告

1. 報告者情報	
(1) 学校名	ジャカルタ日本人学校チカラン校
(2) 報告者名	小暮 敦子
2. 報告月(10月の取組みを11月に報告する時は、「10月」と記載ください。)	
10月	
3. 進捗状況(該当する項目に丸を付けてください。「計画より遅れている」を選んだ場合は、理由も記載ください。)	
取組	経費
① 計画通り 2. 計画より進んでいる 3. 計画より遅れている (理由: )	1. 計画通り 2. 計画より進んでいる ③ 計画より遅れている (理由: 申請承認が遅れたため)
4. 取組内容	
(報告月に実証事業で取組んだ内容を記載ください。実施した内容をただ記載するだけではなく、その中で得た知見や、困ったことなども記載ください。)*資料があれば、添付してください。	
10/1~	○教師用 iPad の活用開始(1台) ※実証事業予算での購入ではない。 ・体育の水泳学習 けのびやバタ足を撮影して、泳ぎのフォームをその場で確認した。 ・サツマイモの栽培記録を写真で保存し、手描きのカードとともに経過観察をしている。 ・オンライン授業で算数ブロック操作する手元を映し、計算の仕方を説明している。
	
畑で育てているサツマイモ	朝顔の成長記録
	
算数ブロックの操作	

10/12~	Webカメラを使って日本とのオンライン授業 (中学部・英語) □Web カメラに切り替えて授業を開始 教室全体が映るので 離れて座っていても 生徒の様子をカメラに収まる。教員の声は前方のスピーカーからはっきり聞こえてくるので聞きやすい。かなり対面授業に近づいた印象がある。疎離感が高まり、互いの表情を見ながら対話できるので違和感なく授業が受けられる。産学だけでなく、小学部の英語話のアクティビティでインタビュースタッフなどの動きのある活動が撮影できるようになった。
	 
10/13 15:30~	校内実証研修会 <管理カメラ> ○メーカーによるデモンストレーション 製品の説明・使用方法のレクチャーを受けた。実際に教材の映りを確認し、使用場面や活用方法についてディスカッションした。実際に動かしたり試したりすることで活用のアイデアが浮かんだ。
	 
10/14	小学部2年 まちたんけん(生活科) ねらい: 学校近隣の施設を訪問し、施設を見学し、そこで働く人々へのインタビューを通して、自分たちの生活と地域社会とのつながりに気付く。 □「ルールズエ」のレセプションスタッフの協力を得て、仕事内容についてインタビューした。
	 

	<p>○児童がデジタルカメラを使用し、施設内を撮影した。見学後にまとめ学習に活用した。</p> <p>現在、自宅で学習している見学に行けない児童がいるため、事後学習で写真を使って見学の様子を共有した。</p> <p>11月に見学したことをもとに「地域のおさ」を発表する。撮影した写真について電子黒板機能を使って詳しく説明する予定。</p>
10/18	<p>第3回研究推進部会</p> <p>○OJSオンライン集会実施案 検討 11月23日(月)6校時 体育館にて ※資料1</p> <p>○研究発表は、小・中学部ができるだけ多く発表を公開する。発表者は事前に告知し、指導案を作成。発表日の放課後、多観者を中心に研究協議を行う。</p>
10/19～	<p>スクリーンの設置</p> <p>○小学部1年の教室で試行。</p> <p>黒板設置タイプを購入。黒板上に留め金をつけ、黒板の左右どちらにも設置できるようにする。(設置は自校作業)オンライン授業も積極的に使用していく。対面授業の際は、必要な時に引き出してスクリーンとして使用できる。順次、各教室に設置していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
10/27	<p>○OJSオンライン集会</p> <p>○日本にいる保護者向けの文書作成 ※資料2</p> <p>HP上に参加申し込み画面から参加希望者に必要な連絡フォームを入力してもらう。</p> <p>締め切りを11月6日(金)としている。</p> <p>○OJSの近況を児童・生徒会が中心となって発表する。その際は、写真を加工してプレゼンスライドを作成して発表する予定。</p>
10/28	<p>高校入試の面接練習</p> <p>○11月初旬にオンラインでの面接試験を受ける中3生徒がいる。特別措置入試はオンラインで面接試験がある。本番に備えて面接試験の練習を何回か行った。インドネシアにいる担任と日本にいる教員とが面接官役になり、本番と同じようにリモート面接を行った。</p> <p>リモート環境で相手に自分のことをアピールしたり、質問の意図を正しく捉えて答えたりするスキルが試される。生徒は自宅から受験するため、質問を聞いて個々のご家庭に応じて細かい点を指摘することができた。これまでのオンライン授業の経験が少なからず生かされているものと期待している。</p>

取組の総括	<p>感染状況が改善せず、10月中は分散登校を行った。引き続き、週に2回オンライン授業、3回対面授業を行った。※小学部は火・金、中学部は月・木に登校。水曜日は全員登校。固定時間制は組まず、各教科の授業時間を適正に確保しよう計画的に学年・教科の時間割を組み立てている。一日おきに登校することにより、オンライン授業の履修チェックや学習内容の補足などがタイムリーにできている。このような状況だが、小学部は10月22・23日に修学旅行を実施、中学部は中間考査を行った。運動会は11月に延期して実施予定である。</p> <p>教員は11月以降の授業公開に向けて、積極的にICTを活用した授業に取り組んでいる。特にオンライン授業では、これまでのノウハウをICT活用場面に直結して指導のスキルアップに努めている。まずは、各教室にスクリーンを設置することで黒板とPCディスプレイを自在に換装することが可能になった。そして、背面カメラの活用によって手元の作業をライブで見せたり、タイムリーに真物を映し出したりすると、授業の幅が広がるものと期待している。</p> <p>換装機の発注は完了しているが、在庫の関係で配達が遅れており、一日も早い納品が待たれる。オンライン・対面の授業形態を問わず、同じ条件で効率的な指導ができるようICT環境を整えて参りたい。</p>
-------	---